

第26回ランニング学会 総会 議事録

報告事項：

1. 会員の異動（H24.1.1～H24.12.31）

会員数：正会員 564 名、顧問 7 名、名誉顧問 3 名、賛助会員 6 社、購読会員 7 大学

2. 学会口座、学会メールアドレス

以下の通り新設・整理した

- ・保有する口座 学会事務局口座、学会大会事務局口座、指導者養成委員会口座
- ・メールアドレス 事務局用、助成研究用、編集委員会用、指導員養成用

議題

1. 平成 25 年度（H25.4.1～H26.3.31）事業報告、各委員会活動報告

- 1) 学会大会 H26.3.21～3.22 大阪体育大学で開催した（大会テーマ：マラソン～市民マラソンからエリートマラソンまで～）
- 2) 学会総会 H26.3.22 大阪体育大学で開催した
- 3) ランニングクラブ運営 47 クラブ、会員総数 3,500 人で活動した
- 4) 編集委員会 ランニング学研究 Vol.24 No.2（H25.12）を発行した
- 5) 助成研究 審査により 4 研究課題に計 100 万円を助成した
- 6) Position Stand 委員会 熱中症および脂質代謝の 2 テーマについて進行させている
- 7) 広報委員会 会報 31 号・32 号を発行、ニューズレター No16、No17 を HP に掲載した
- 8) 指導員養成委員会 講習会を日本女子体育（H25.10）、大阪体育大学（H26.2）で開催し、各 20 名程度が受講し認定された
- 9) ランニング学会賞 次の 2 題に決定し、授与した
学会賞：高橋昌彦ほか「女子マラソン選手の中学校時代における競技活動の特徴～日本代表経験の有無に着目して～」
奨励賞：森村和浩ほか「児童の持久走に対する意識変容と体格・体力・学力に関する縦断的研究」
- 10) 学会セミナー 大阪マラソンセミナー（H25.10）、マーラ・ヤマウチ氏特別講演（H26.3）を開催した
- 11) 将来構想委員会 今後の方針を検討している
- 12) その他 顧問弁護士として石井慎一氏と新規に契約した
以上の事業および活動の成果が報告され、承認された。

2. 平成 25 年度（H25.1.1～H25.12.31）会計報告：別紙

別紙決算書に基づいた会計報告と、監事による監査報告がなされ、承認された。

尚、監事からは学会の協賛金や各委員会の活動について提言があった。

3. 平成 26 年度（H26.4.1～H27.3.31）事業計画、各委員会活動計画

- 1) 学会大会 日本女子体育大学（東京・世田谷）2月28日（土）3月1日（日）に開催する予定
- 2) 学会総会 上記大会期間中に開催
- 3) ランニングクラブ運営 実施
- 4) ランニングに関する調査：「ランニングが健康に及ぼす効果」の調査実施
研究スタッフ、AVRC 以外のデータ収集等に関する協力依頼を行なう
- 5) 編集委員会 ランニング学研究の発行

- 6) 助成研究 実施
 - 7) Position Stand 委員会 脂質代謝について Position Stand 発表
 - 8) 広報委員会 会報とニューズレターを発行
 - 9) 指導員養成委員会 講習会（10月東京、2月大阪）と審査による認定を行なう
規定等を周知し、指導者・指導員研修会を開催
 - 10) ランニング学会賞 例年通り実施
 - 11) 学会セミナー 例年通り実施
 - 12) 財務委員会 学会賛助会員と大会協賛について検討
 - 13) 将来構想委員会 以下の案件について検討
新規会員、賛助会員、大会協賛、バナー広告の獲得
情報発信の活性化、学会 HP の活用
指導者制度の充実、認定者の活用など
 - 14) 選挙管理委員会 理事選挙実施
- 以上の事業および活動の計画の説明がなされ、承認された。

4. 平成 26 年度（H26.1.1～H26.12.31）会計予算：別紙

別紙に基づき、以下の点を盛り込んだ予算案が説明され、承認された。

各委員会にはメールでの議論を積極導入して会議費の儉約を促す

指導者養成・認定には事務職員を置き報酬を支払う

「ランニングが健康に及ぼす効果」調査を行うので費用を計上する

5. その他

伊藤副会長より、2020年東京オリンピックに当学会がどう関わってゆくか考える必要がある旨、発言があった。

また当学会のランニング指導員制度の他に日本陸上競技連盟等でも指導員制度を検討中であり、互いの連携や役割分担を考えてゆく必要がある旨、発言があった。

(文責：佐藤光子)